

時事新報

米國輸出生絲論 二
 我生絲は米國を得意と定む可し
 生絲は我國第一等の物産にして百年富強の計を案すれば年々内に其産額を増加すると同時に歳々外に其販路を開拓し世界生絲の需要者を一手に引き受くるの氣概なかる可らず即ち此生絲の得意先を求むるに就ては歐洲と云ひ米國と云ひ其處を好むるの計れなく殊に歐洲諸國へ向け我生絲を輸出したるは開國後、間もなく事にして取引の年所多きに隨ひ需要の區域も相應より廣く今後ますます其區域を廣めんと勉強せざる可らざるも勿論なれども抑も歐洲大陸は大小邦士夫牙士して國力平均の關係より動もすれば兵を境上に集り戰雲飛揚して殺氣騰たるとも毎度なるが故に外交政略の抑揚は忽ち商賣上の活機に響き眞實戰端を開くが爲めのみならず某國帝と某國帝が會見しり云ひ云ひ其國の宰相が云々の演説を爲したりと云ひはより以下瑣末の事に至るまで、生絲の輸出の種となり取り止めもなき風説に因りて物價の浮沈を致すと珍らしからず特に彼の組織物の如き華奢品は鋭敏に影響を蒙り易く同時に生絲相場を動かして一上一下、商賣上の定期に従はず爲めに生絲の商法をして一種の投機業たらしむるは自から是れ歐洲の風勢にして生絲製造者たる日本人より見れば歐洲の市場は云々、亂雜不定にして非常に儲かるゝとあれば又非常に損するゝとあり損益を天に任する者にして國は商業を以て立國の主義と爲すのみならず國交際の際倒るる歐洲地方と程隔りて外交政略の抑揚も大西洋を横りて來らず且つ其組織物の如き自國の需要に應ずるが爲め自國にて製造する者あれば國中に大變亂を見ざる限りは其相場の一上一下、何れも商賣上の定期に由り市場自から程にして我生絲商人も此市場に向ては安心して賣込を爲すとを得べし且つ米國の織物業は近年著しく進歩して初めより之れと違故ある我生絲の輸出額も亦此一方に向て増加し十年前間を回顧して日本生絲の海外輸出は大に増加したりと云へど其増加は米國向きのみにして歐洲向きの我生絲は十年一日の如く殆んど進歩なしと云ふも可ならん今續續外國人商法會議所の調査に據るに明治九年度より同二十二年まで歐洲並に米國へ輸出したる我生絲の仕譯表は左の如し

年 度	歐 洲	米 國
一千八百七十六年	110,000	110,000
一千八百七十七年	110,000	110,000
一千八百七十八年	110,000	110,000
一千八百七十九年	110,000	110,000
一千八百八十年	110,000	110,000
一千八百八十一年	110,000	110,000
一千八百八十二年	110,000	110,000
一千八百八十三年	110,000	110,000
一千八百八十四年	110,000	110,000
一千八百八十五年	110,000	110,000
一千八百八十六年	110,000	110,000
一千八百八十七年	110,000	110,000
一千八百八十八年	110,000	110,000
一千八百八十九年	110,000	110,000
一千八百九十年	110,000	110,000
明治二年	110,000	110,000

右の次第なるが故に我生絲商人は機業の進歩著しくして市場の模様確かなる米國を以て得意とし永遠取引の根本を先づ此處に打ち立て夫より歐洲諸國を始め枝葉の隅々に手を廣げ世界生絲の需要者を一手に引き受けんとするの手段を盡すと商賣の順序に於て然る可きものならん然るに近來米國の生絲市場を見るに歐洲並に支那は漸く我勁敵ならんとし我れ若し油断して虚を露せば彼れ直に之れを捕かんとするの狀勢なきに非ず回顧すれば明治十四年の末なり續續聯合荷所と居留外國商人との萬難あり一時我生絲の輸出を止めたるとありしが米國の機業は當時日本生絲の供給を絶たれて己むを得ず歐洲生絲を輸入し以て其場を間に合はする中、凡そ機業の習慣として一種の生絲を使用し慣れば他と變更するを好まざるの風あるが故に彼の萬難の後今日に至る迄上等生絲は常に歐洲産に制せられ我生絲の販賣上毎度困難を感ずるに至りたるのみならず先年伊佛間に不和を生じて佛國は伊太利の生絲に對し重き關稅を課したるを以て同國生絲商人は其販路を米國に開かんと勉強すると大方ならず之れが爲めに今前號の紙上に掲載したる一表中にも明白なるが如く明治二十一年度より米國輸入の歐洲生絲は一千俵前後の増加を致せり扱て又支那生絲は如何と云ふに絲質は天下第一流にして光澤、強力、他に其比を見ずと雖も從來其製法は手練りにして之を織物に使用すると能はざるが故に十餘年來一日の如く絲に一步の改良なきれば輸出にも亦増加なくして兩三年前まで引き續きたりしが近頃彼の生絲家も少しく悟る所ある者如く製絲に機械を用ひ始めたるに果して米國人の需要に適し伊太利と同等には歐洲並に支那生絲ありて我生絲と競争せんとするの勢あるが故に我生絲商人は決して安閑たる可らず先づ我常得意たる可き彼の生絲市場の現況を審かにして賣込上は將た製絲上に十分の改良方を導き他の生絲取引の未だ繁茂せざるに及んで早く我取引の根本を定め枝葉他を盡して其成長を許さざるの覺悟を有する可らざるなり

雑報

●坪井仙次郎氏 嶋根縣師範學校校長なる同氏は過日來校務を帯び出京中なりしが今回同校へ下期相成りたる兩陛下の御駕具を拜戴して本日歸郷するよし
 ●米國公使館移轉式 同公使館は今度新築したる赤坂覆坂町へ移轉せしを以て来る十六七日頃内外賓客を招待して新築移轉の式を挙ぐるよし
 ●自由の記者 自由黨の機關として昨十四日大坂に於て初號を發刊する「自由」は花香恭次郎氏主筆となり畑下熊野氏も専ら其編輯に従事する趣あるが孫てより同地東洋新聞の記者たる光民居士中江篤介氏も自由の編輯を助る事となりたるよし
 ●函館造船所 函館の豪商渡邊熊四郎、平田文右衛門兩氏の所有に係る同所の造船機械製造所は近來沿海運搬の汽船及諸製造所の事業進歩増進せしを以て隨て同製造所の工業も益々繁劇を來したる折柄本年四月初旬一朝祝融の災より罹り工場忽ち烏有に歸したり尤も其以前同道福山の商船組長岩田榮藏氏は同港に船渠を設置せんことを企圖し曾て東京の有志者にも謀りて其計畫中右に記する如く火災に罹り公衆一般爲めに不便を感

東京商埠

じ一日も忽にす可らざれば速に之が再興を謀らんと去る四月上京し偶々右器械製造所持主も上京中なるを以て持主とも協議の末本月初旬築地壽美屋に於て園田實徳、渡邊熊四郎、平田文右衛門、平出喜三郎其他十餘名集會を催はし園田氏を委員長に岩田、渡邊、平田諸氏を委員に擇み創立事務を擔當すると決したり其要領を聞くに右器械所の物件一式を利川し併て六七百圓の船を築る、船渠を設け更に函館造船所と改稱し資本金三十萬圓の有限責任の會社組織と爲す計畫にて森岡昌純、吉川泰二郎、安田善次郎氏等賛成し彌々其筋へ出願する由にて岩田氏は近日歸途に就く都合なりと云ふ
 ●家屋取拂ひの地所 市區改正に付日本橋區西河原町通りは三等道路十間幅にするとなり通一丁目十九番地より西側通り西河原町一番地より十七番地迄を取拂ふよし
 ●新茶の大手合及在荷 横濱の製茶市況は三番船出帆後多少相場に變動あるべしと内商は大いに氣遣ひ同船出帆の前に競りて賣抜けしに其後更に賣動なきのみならず氣配益々好況にして百七十八番、三十三番、廿二番其他の各館とも非常に買進み既に去る十二日の如きは四十八番七千五百斤の大手合ありて在荷は僅かに四十三萬斤とあり新茶初荷以來同日まで各地より横濱に入荷となりし總計は四百五十七萬六千三百斤なりと云ふ
 ●海外旅行券 去る四月中神奈川縣廳に於て海外旅行券を附與せられし人員を聞くに其總計は八十二人にして之を國々に區別すれば北米合衆國行男三十五人女七人、英領加那行男二十一一人女三人、伊太利行女一人、布哇國太平洋洋マリアナ島及濠洲行各男一人、清國及英領香港行各男一人女一人、各國行男八人女八人又同日中歸朝届出の人員は八十五人にして内北米合衆國行男二人女一人、英領加那行男一人、布哇國行男五十二人、女二十四人、清國行男一人女二人、英領香港及同ペンキ行男女各一人ありと云ふ
 ●美術展覽會覽人 去る六日より十二日まで一週間上野公園内美術展覽會の覽人は二千八百九十五人なりと
 ●壽座 本所の壽座は一昨十三日午前八時より開場せり名題は噴縮服蝶々小紋の通し大切名畫精妻粉にて役割は大内政治、彌重(鶴枝)三木隼人、愛妾(鶴)日比野藤内、中間おみみし金六(榮丸)與女中錦木(榮吉)大内新十郎、高橋五郎兵衛(駒吉)與方胡蝶の方(榮城)花紫、麗若(吉次)若徒市助、中老初上、鬼の念佛(錦糸)隱岐元三郎、傀儡師(壽三八)にて場代は一圓二十錢、一圓、九十錢、七十六錢、大入場一名四錢なりと
 ●常陸太田町通信 (五月十日發)
 政況 當地方は從來政事向に冷淡なりしが衆議院議員撰舉の期近きる爲めか此頃は諸所に集會等ありて殊の外喧しく候補者の數なども存外多く目下世間に稱する所のものは立川與、根本正、野口勝一、大津淳一郎等の諸氏あるが元來當選は那珂、久慈、多賀の三部にして撰舉人の數は大凡二千もあるべし而して其撰定員は二名あり○農况 麥作は十分の出来にて平年と雖り亦く菜種も實入殊の外其先づ八分の出来あり養蠶は不順の氣候にて蠶兒も早く發生せしかば其結果如何を

白米小賣相場	一斗 一圓二角五分
深川在米高	一斗 一圓二角五分
入津船 (同日)	一斗 一圓二角五分
東京油會所立金	一圓二角五分
深川橋口地知	一圓二角五分
入船	一圓二角五分
東京油會所立金	一圓二角五分
深川橋口地知	一圓二角五分
入船	一圓二角五分

東京米問屋市況	一斗 一圓二角五分
深川在米高	一斗 一圓二角五分
入津船 (同日)	一斗 一圓二角五分
東京油會所立金	一圓二角五分
深川橋口地知	一圓二角五分
入船	一圓二角五分
東京油會所立金	一圓二角五分
深川橋口地知	一圓二角五分
入船	一圓二角五分